

アドミッション・ポリシー

【博士前期課程】

本課程は、次のような資質を持つ学生を求めています。

1. 言語に関する次のいずれかの分野に学術的な関心をもっている学生。理論言語学、個別言語学（英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語、日本語）、応用言語学、言語聴覚障害学、英語教授法、日本語教育学。言語聴覚障害学専攻希望の場合には言語聴覚士の国家試験受験資格取得を目標としてもよい。
2. 当該専門分野における学識および教養を高める意思があり、独自の研究成果を挙げ、社会に還元する意思をもっている学生
3. 理論言語学、個別言語学、応用言語学、英語教授法を専攻する学生は修士論文を外国語（日本語教育学では外国人学生の場合、外国語としての日本語）で作成することが要請されるので、この要件で修士論文を完成するに足る外国語能力を有している学生

【博士後期課程】

本課程は、次のような資質を持つ学生を求めています。

1. 博士前期課程での研究にもとづき、博士論文として研究する方向性を明確に有している学生
2. 各自の専門分野の研究を深化させると同時に、関連分野の知見も取り入れ、専門的教養・学識を高めて独創的な研究を行う学生
3. 学会発表や学術雑誌に投稿し、言語運用能力も含め、自力で研究を遂行する実力を身につけ、在学期間中に学位取得を志す学生。